

市議会
12月定例会

22年度病院事業会計予算、22年度補正予算など
18議案を可決・承認・同意

市議会12月定例会が12月6日に開会し、同日、奥田保弘氏(65歳、上安川公明党議員団)を議長に、尾関善之氏(63歳、南田辺創政クラブ議員団)を副議長に選出。その後、平成22年度病院事業会計予算や一般会計補正予算など市長提案の18議案を審議。原案どおり可決・承認・同意し、12月27日に閉会しました。概要は次のとおり。

病院事業会計予算

補正予算

このほか、成立した主な条例などは次のとおり。

◆舞鶴市立学校条例の一部改正 加佐地区の小・中学校再編に伴い、学校の名称変更などを行うとともに、白糸中体育館の改築に伴う使用料の変更

◆舞鶴市水道事業給水条例及び舞鶴市簡易水道事業設置条例の一部改正 簡易水道事業の水道事業への統合整備を図るため、12地区を水道事業の給水区域へ編入など

収益的収支(入院・外来収益や給与費、薬剤費など)病院運営にかかる収入と支出)14億7,672万円と資本的収支(施設整備などの収入と支出)1億9,503万円を合わせた16億7,175万円を措置しました。

◆一般会計 収益的収支(入院・外来収益や給与費、薬剤費など)病院運営にかかる収入と支出)14億7,672万円と資本的収支(施設整備などの収入と支出)1億9,503万円を合わせた16億7,175万円を措置しました。

◆特別会計 水道事業会計は3億1,586万円増額の33億5,890万円、国民健康保険事業会計は568万円増額の89億1,406万円、下水道事業会計は1,767万円減額の47億5,871万円、介護保険事業会計は307万円増額の71億5,352万円となりました。

◆固定資産評価審査委員会委員 福本清氏(64歳、余部上川再任)、高木紀子氏(63歳、伊佐津川新任)

◆人権擁護委員候補者 林田和子氏(60歳、寺内川再任)、中野健太郎氏(64歳、浜川新任)

【補正予算の主な内容】 ◎新規 ○拡大

22年度第3号	概要	金額(1万円未満切り捨て)
議会費	議員報酬等(議員定数削減などに伴う減額)	△1,311万円
総務費	◎地域開発用地等先行取得資金貸付金(土地開発公社による(株)資生堂舞鶴工場跡地の先行取得)	9億3,000万円
民生費	○障害者支援施設給付費(通所サービスの支給決定者増加に伴う増額)	8,100万円
衛生費	◎病院事業会計経営支援補助金(収益的収支分=病院事業会計当初予算)	7億4,504万円
農林水産業費	◎野生鳥獣猛害関連被害緊急対策事業費補助金(広域防護柵などの被害防除対策に対する支援)	224万円
商工費	○中小企業融資制度貸付金(中小企業経営安定化融資(舞鶴)の実施期間延長に伴う増額)※2号に関連記事	2,000万円
土木費	○交通安全推進事業(市道女布七日市線の用地補償)	5,000万円
教育費	◎芸屋台保存展示施設整備事業交付金(芸屋台の展示を兼ねた保存施設整備に対する支援)	300万円
公債費	◎市債償還元金(公的資金補償金免除繰上償還分)	5,980万円
予備費	予備費(病院事業会計経営支援補助金の予算化に伴う減額措置)	△7億353万円

22年度第4号	概要	金額(1万円未満切り捨て)
国の緊急総合経済対策に伴う事業		
衛生費	○子宮頸(けい)がん対策事業(ワクチン接種の全額公費負担に伴う増額)※2号に関連記事	1,379万円
農林水産業費	○地域水産物供給基盤整備事業(竜宮浜漁港整備)	4,230万円
土木費	○民間木造住宅耐震改修等推進事業(助成額の上積みなどに伴う増額)※右下記事参照	600万円
きめ細かな交付金を財源とした事業		
民生費	○老人福祉センター施設整備事業(文庫山学園および由良川学園の施設改修)	1,700万円
衛生費	○リサイクルプラザ施設改修事業(車両購入に伴う増額)	1,900万円
商工費	○観光案内板整備事業(観光案内看板のリニューアル)	460万円
土木費	○交通安全推進事業(防護柵などの設置) ○公園緑地整備事業(東舞鶴公園などの施設改修)	2,750万円 1,700万円
教育費	◎小学校校舎等改修事業(エアコン整備のための設計業務) ○体育施設整備事業(東舞鶴公園テニスコートの改修)	1,800万円 3,400万円
住民生活に光をそそぐ交付金を財源とした事業		
民生費	◎児童養護施設整備費補助金(施設の機能充実)	240万円
教育費	○図書資料等充実経費(参考図書コーナーなどの充実)	600万円

市役所本館 耐震補強工事 西口が終日使用できません 休日・夜間の出入口を別館玄関に

市役所本館の耐震補強工事が始まりました。館内1階の作業を行うため、本館西口が1月22日(土)～4月上旬(予定)の期間、終日使用できなくなります。これに伴い、休日・夜間の出入口(宿直室)を別館玄関に一時的に移転します(下図参照)。

また、1月17日(月)～12月末の期間、生活環境課を京都北都信用金庫北吸支店跡(浜2006番地18、下図参照)へ一時的に移転。そのほか、工事期間中は、庁舎周辺に工事用仮囲いや足場などを設置するため、通行や駐車場を一部規制します。ご理解とご協力をお願いします。

詳しくは、管財契約課(☎66・1045)へ。



好評企画 舞鶴・天橋立周遊クルーズ フェリーで春の休日を満喫



▲前島ふ頭を出港する「はまなす」(昨年9月のフェリークルーズ)

3月21日(月)春分の日、「新日本海フェリー」で行く舞鶴・丹後天橋立周遊クルーズを実施。参加者を募集します。

◆日時 3月21日、12時～15時

◆集合場所 前島ふ頭フェリーターミナル

◆周遊ルート 前島ふ頭発 舞鶴湾→宮津湾(天橋立沖合)→同ふ頭着

◆定員と料金など

《ランチバイキング付クルーズコース》旬の北海道ランチバイキング付き。先着300人。大人(中学生以上)6,800円、小学生4,700円、3歳未満2,000円、3歳未満無料。

《クルーズコース》先着450人。大人4,800円、小学生3,300円、3歳

木造住宅の耐震改修費用助成 限度額60万円⇒90万円

地震発生時における被害を軽減し、木造住宅の安全性向上のため、耐震改修費用を助成。国の緊急総合経済対策に伴い、今年度に限り、従来の助成額(費用の2分の1、限度額60万円)に最高30万円を追加して支給します。対象は、昭和56年5月31日以前の建築で1戸当たりの延べ床面積の2分の1以上を居住に使用している住宅の耐震診断の評点が1.0未満を1.0以上に改修工事。先着10戸。申し込みは、1月31日(月)までに所定の用紙(建築住宅課に備え付け)で。 図同課(☎66・1050)

就学前1,500円、3歳未満無料。

※両コースの参加者の合計が350人未満の場合は中止。船室を利用する場合は別途料金が必要。

船内イベントが盛りだくさん

船内ではアカペラの市民グループ「THE LAST ORDER」によるコンサートをはじめ、舞鶴・丹後・北海道の特産品販売や豪華景品が当たる船内イベントが盛りだくさん。

内クイズラリーなどイベントが盛りだくさん。出港7レモニーでは白糸中吹奏楽部の演奏も。

◆申し込み方法 電話かファクスで(株)ヴィーナストラベル(☎06・6348・0571、FAX 06・6348・0573)へ。

詳しくは、観光協会事務局(観光商業課内、☎66・1024)へ。